

決算審査特別委員会

平成22年度決算を審査

決算審査特別委員会 委員長報告(要旨)

葛飾区議会公明党

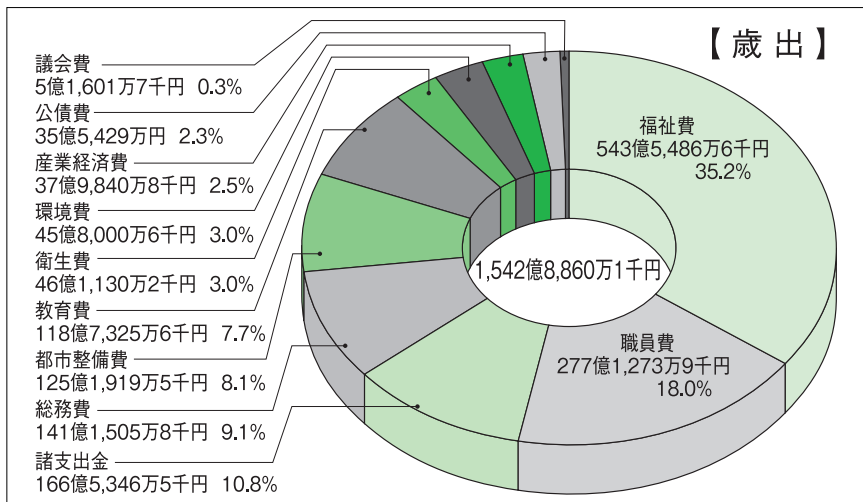
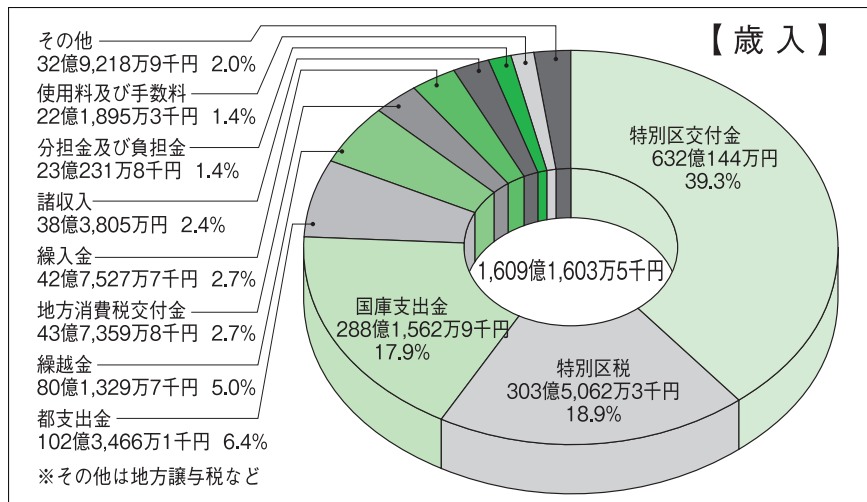
9月21日の本会議において、平成22年度各会計歳入歳出決算7件を審査するため、37名の議員で構成する決算審査特別委員会が設置されました。

決算の審査は、第1〜4までの各分科会において詳細に行われ、その後、決算審査特別委員会において、各会計決算についての採決を行い、いずれも認定すべきものと決定し、10月20日の本会議において認定されました。

平成22年度各会計決算

	歳入決算額(円)	対前年度伸び率	歳出決算額(円)	対前年度伸び率	歳入歳出差引額(円)
一般会計	160,916,034,750	-3.3%	154,288,601,233	-2.6%	6,627,433,517
国民健康保険事業特別会計	48,717,337,674	-1.7%	48,353,321,220	-2.2%	364,016,454
後期高齢者医療事業特別会計	7,098,257,877	12.0%	7,087,513,574	12.4%	10,744,303
老人医療事業特別会計	4,416,182	-96.1%	4,416,182	-96.1%	0
介護保険事業特別会計	24,220,362,492	5.1%	24,112,669,172	6.3%	107,693,320
用地特別会計	534,479,999	0.6%	534,479,999	0.6%	0
駐車場事業特別会計	479,446,871	-76.8%	478,666,037	-76.5%	780,834
合計	241,970,335,845	-2.5%	234,859,667,417	-2.0%	7,110,668,428

一般会計



※千円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります ※比率は小数第2位を四捨五入して小数第1位まで表示しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります

決算審査特別委員会は、平成22年度各会計歳入歳出決算について審査を行うために、9月21日の本会議において、37名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計歳入歳出決算のうち、議会費、総務費、産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費及び公債費以下と各特別会計歳入歳出決算を所管しました。

10月7日から13日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、10月17日に、当委員会は、各分科会長からの審査経過及び各会派からの意見の報告を踏まえ、各会計歳入歳出決算について採決を行いました。

採決の結果につきましては、「一般会計歳入歳出決算」「国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」「駐車場事業特別会計歳入歳出決算」については、いずれも賛成多数で報告のとおり認定すべきものと決定しました。

また、「後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算」「老人医療事業特別会計歳入歳出決算」「介護保険事業特別会計歳入歳出決算」「用地特別会計歳入歳出決算」については、いずれも全会一致で報告のとおり認定すべきものと決定しました。

平成22年度決算に対する各会派の意見

この面から7面まで、平成22年度決算に対する各会派の意見を掲載しました。

葛飾区議会公明党
安心・安全なまちづくりの構築に向けた施策の展開を
本区の平成22年度決算は、特別区民税や特別区交付金の大幅な減収の一方生活保護費などの扶助費が大幅に増加する中、着実な行政改革への取り組みがなされ、適切かつ順調に事業が執行されたことを評価し、認定致します。

以下、款別に意見を述べます。

総務費 防犯協会への助成金の使途目的緩和と、時宜になつた予算執行ができるよう検討し、さらに犯罪防止のための予算増額を望みます。入札では東京都に準じた最低制限価格及び調査基準価格の仕組みの導入を要求します。入札希望者を区内業者と定める近隣区並みの制度にすることを要望します。区の指定管理者で働く方たちの労働条件は公募時の段階だけでなく、指定期間中にもチェックする仕組みの構築を要望します。かつしか文学賞をはじめ、さらなる文化事業の構築を求めます。

産業経済費 工業育成事業費については、結果に対して助成する制度から研究・試作に対して、前倒しでも助成されるよう制度の改革を望みます。観光PR用DVDの取り組みを評価します。完成後は、観光事業の更なる推進のため、観光大使などの取り組みを要望します。

福祉費 高齢者福祉費は、高齢化社会が進む中で、現行事業の推進に加え時宜に適った事業の展開を要望します。高次脳機能障害者の生活リハビリ事業の充実、緊急一時預かり・ショートステイができる場所の設置、就労・就学支援強化を要望します。保育待機児童ゼロの推進・認証保育所利用の保護者に対する保育料助成制度の創設を求めます。介護予防事業の拡大と、多角的なサービスの充実・創設を要望します。

衛生費 予防接種助成の拡充、インフルエンザ予防接種の無料化を求めます。5歳児健診の導入を要望します。がん対策事業に対して周知活動と検診率アップの取り組みを要望します。環境過敏症・電磁波過敏症についての相談体制を確立するよう望みます。

環境費 区民の不安解消のため放射線量の測定と情報公開の継続、緑のカーテン事業の推進を要望します。区民農園用地の確保へ、抜本的な取り組みを求めます。LED購入費助成事業等の継続実施を望みます。電気自動車購入等の融資制度は区民への周知並びに利用しやすい制度の構築を求めます。

都市整備費 中川の高砂橋下流の耐震・親水護岸工事の計画的な推進、高砂橋上流の護岸工事の早期着工を要望します。高齢者が外出した際、一時、休憩できる腰かけなどを設置したユニバーサルデザインのまちづくりや公園、児童遊園への特色ある遊具の設置を望みます。排水場・下水処理場の電源確保対策を求めます。区営住宅のエレベーター未設置棟への設置推進を要望します。住居表示が未整備の公園等については設置を求めます。街路灯の照度アップ工事の推進を望みます。高齢者に配慮した堀切地区の街づくりを要望します。街路樹の拡充とともに安全・安心の対策を求めます。

教育費 確かな学力の定着度調査では結果の問題点を精査し、学力向上に向けて、指導室の機能を強化するなどダイナミックな改善を望みます。学習指導要領に盛り込まれた「放射線に関する学習」では、早急なる教員研修の実施と現時的・具体的な情報を授業に反映されるよう望みます。各学校でリサイクル可能な給食食器を使用するように段階的な措置と、HPにおける給食の情報発信にさらなる工夫を要望します。本区初の小中一貫校である新小岩学園では現状の課題解決に積極的取り組み、次期開校予定校への良きモデルケースとなるよう期待します。学校避難所運営においては、災害を想定した際に各関係者の連携方法など、より詳細な検討をし、実効性のある運営マニュアルの整備を望みます。各特別会計については、適正に執行されているものと認定します。